

学部 / 人間科学領域 / 社会の理解 科目コード：130005 社会学 Sociology					
担当教員	三部 倫子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	社会学、差別				
学習目的・目標	社会学とは、個人の経験を社会との相互作用のなかで考察する学問です。社会学を通して、個人の問題として切り落としていた事象（貧困、DV）や、自分とは関係がないとみていた事象（LGBT、民族差別）が、実は自分を取り巻く社会と密接であると気づくことができます。このような「社会学的想像力」は、看護が対象とする人間を理解する上で大きな力を発揮します。 授業では「差別」を社会学することを通して、人間の苦しみを社会との関係のなかで考察する姿勢を養います。 ＜目標＞ ① 社会学の基本的概念を学ぶ。 ② 身近な事例への知的好奇心を醸成する。 ③ 社会問題について社会学的観点から考えられるようになる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	オリエンテーション——社会学とは				
2	排除と差別の社会学を考える二つの基本				
3	部落差別の今は・・・？——「部落」「部落民」の表象のゆくえ				
4	「当事者」は差別や排除を語るのか？——＜ジモト＞の在日コリアンとともに感じたこと				
5	「身体」をあたりまえに生きるために——「マタニティ・ハラスメント」という問題				
6	「ひきこもり」からの問題提起				
7	学校空間における排除と差別				
8	医療における排除——LGBTと医療福祉				
9	女性カップルの子育て願望への反発に見る排除のかたち——「子どもがわいそう」をめぐるポリティクス				
10	モザイクとしての「障害者問題」				
11	「ユニークフェイス」から「見た目問題」へ				
12	「民族」との向き合い方——在日コリアンの歴史と日本社会の対応				
13	「復興災害」の空間と多文化的現実——21年目の被災地を歩きなおす／見つめなおす				
14	原発問題について自由に思考をめぐらすことの困難				
15	原発事故による避難について考えるために——生活の再建をめぐるジレンマ				
教科書	好井裕明編2016『排除と差別の社会学〔新版〕』有斐閣。 QWRC2016『LGBTと医療福祉＜改訂版＞』各自でPDFをダウンロードしてください。http://qwrc.org/2016iryoufukushicmyk.pdf				
参考図書等	適宜、授業中に紹介します。				
評価指標	レポート70% 提出物15% ディスカッション15%				
関連科目	社会福祉論、医療人類学				
教員から学生へのメッセージ	授業中にグループディスカッションを取り入れますので、積極的に参加してください。 毎回、その日の授業で学んだことや感想を書いて提出してもらいます。				